

# 高道

## 前期が終了します 成長する子どもたち

来月の7日(金)は前期の終業式です。1年生は入学して半年が過ぎました。子どもの成長は早いもので、先日行いました1年生の研究授業で、元気に、授業に集中して取り組む姿に、感動さえ覚えました。また、6年生にとっては、卒業まであと半年。6年生のこの半年での成長も著しく、先日、担任が不在だったとき授業に入りましたが、自分たちで学習を進めていく姿に、これまた感動しました。6年生の子どもたちには、高道小のリーダーとしての良い伝統をつくってくれるようお願いしたところです。ちなみに、私も定年退職まであと半年。私には成長はあるのでしょうか？



集中して担任の話を聞く1年生

## 体験で育つ

### 見学旅行



水しぶきを浴びポーズをとる4年生

9日(金)に、4年生は、美里・山都方面へ見学旅行に行きました。車窓から美しい棚田や霊台橋などの名所を眺めながら行きました。緑川ダムではダムの役割や周りの環境についての説明を聞いた後、ダムの内部を見学することができました。子どもたちは、ダムの大きさを実感すると共に、10数度とひんやりしたダムの内部に感動していました。通潤橋では、名物の放水を観ることができ、水しぶきを浴びながらはしゃいでいました。また、資料館には分かりやすい資料が展示してあり、説明も丁寧で、子どもたちは熱心に勉強していました。

### 集団宿泊教室

14日(水)・15日(木)に、5年生は、菊池少年自然の家に集団宿泊教室に行きました。集団宿泊教室は、訓練とも言われるように、見学旅行とはひと味違います。「自然に親しみ、みんなと協力して最後まで頑張ろう。」「生活のきまりを守り、5分前にすばやく行動しよう。」「進んであいさつ・元気な返事をしよう。」をめあてとしました。活動内容もかなりハードで、2日間びっしり。計画を見せてもらったときには、「鍛えらすなあ」と思いました。しかし、みんな協力して、しっかり活動できたようです。きついことも体験。助け合うことも体験。高道小の次代のリーダーへ、一歩進んだ2日間となりました。



つかんだニジマスを自分でさばく体験

### 福祉体験



視覚障がい体感をする4年生

26日(月)に、4年生が福祉体験学習を行いました。まず、玉名市社会福祉協議会の方に、福祉についての説明をしていただき、今回は、アイマスクをして視覚障がいの体験をしました。これからも、10月5日(水)、12日(水)、17日(月)にも計画されており、高齢者疑似体験や車いす体験、視覚障がい者や聴覚障がい者の方の話の聞いたり、点字体験をしたりして、福祉についての理解と実践力を高めていきます。

### 海苔すき体験

27日(火)に、3年生が海苔すき体験をしました。3年生は、総合的な学習の時間の「高道の自慢」で、今年は「豪潮さん」と「海苔づくり」を学習することにしました。そこで、地域学校協働活動推進委員の寺岡さん(本校保護者)に、海苔関係者の方々に連絡を取っていただき、海苔すき体験が実現しました。講師としてきていただいたのは、海苔の養殖や加工をされている村上さん(本校保護者)、同じく平田さんと河津さん(鍋小校区の方々)、漁協の稲田さん(本校保護者)でした。この土地ならではの体験です。山間部育ちの私は、初めて海苔すきを目の前で見ることができました。初めて知ることばかりでした。私にとっても、貴重な経験となりました。子どもたちには、自分の身近な産業として心に残してほしいと思います。



細かく刻みます



水を足し枠に流し込みます



水分を押し出します



天日に干します